

## 第 2 回小牧市放課後子ども総合プラン導入検討委員会 報告

## 1. 日時

令和 2 年 7 月 1 6 日（木）午前 1 0 時から

## 2. 議題

## (1) モデル事業の実施について

## ① 合同の体験活動の例

- ・ 折り紙（季節に合わせた題材とするなど工夫する）
- ・ 太鼓
- ・ 読み聞かせ
- ・ マジックショー
- ・ サイエンス教室

## ② プロ級の講師による本格的な体験活動の例

- ・ 演奏会
- ・ 茶道
- ・ ヒップホップダンス

## ③ 地区によって児童館が近くにある学校とそうでない学校があるが、児童館との連携は行うべきだと思う。

## ④ 現在児童館で行っている活動で、例えばお米を洗うところから始めるおにぎり作りがあるが、大人は事前にポイントを伝えるのみで基本的には口出しせず、こどもが学年、学区を飛び越えて自分たちの考えで進めている。このような体験は、学校で重視している生きる力を育むことに繋がる面もあり、ひいては社会に出てからの仕事の取り組み方に繋がる。モデル事業の実施にあたり、取り入れることができる部分は取り入れて欲しい。

## ⑤ 新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、前年度中に行う放課後子ども総合プランの申込のときに活動内容を決定・提示することに不安がある。

## ⑥ 放課後子ども総合プランの運営委員会で想定している委員が、既存の学校運営協議会の委員と重なる部分が多いため、議題となることを詰めていけば代替は可能ではないか。

また、例えば地域協議会の方に加わっていただければ、今までとは違った方から意見・情報を得られると思う。

## ⑦ 本委員会にて出されている意見は、委員ではない関係者にも伝わるように配慮して欲しい。